



ボランティア募集中！

事業団では各施設で行う外出時の移動やレクリエーションなどのお手伝いをいただけるボランティアを募集しています。ボランティア活動に興味・関心がある方は是非一度下記までお問い合わせください。

TEL054-335-5050 担当：山中

- 募集条件
- ・心身共に健康な方
 - ・施設まで自力で来て頂ける方

募集施設	
みなとふれあいセンター	ひびきワーク
うみのこセンター	うなばら学園
うしおワーク	なぎさホーム

ボランティア活動保険加入のお願い

ボランティア活動を行う際に万が一の事が無いとも限りません。当事業団では、ボランティアの皆様にはボランティア活動保険への任意加入をお勧めしております。加入申し込みについては、お手数ですが静岡市社会福祉協議会にてお手続きをお願いします。



平成28年度役職員名簿

<法人本部>

役職名	氏名
理事長	藤岡 進
常務理事兼事務局長	大塚 康夫

<各施設>

施設名	施設長
静岡市清水みなとふれあいセンター	櫻井 嗣久
静岡市清水ひびきワーク	松田 智治
静岡市清水うみのこセンター	小長谷 忠
静岡市清水うしおワーク	池上 広司
静岡市清水うなばら学園	望月 伸悟
静岡市清水なぎさホーム	大塚 明子
障害者相談支援センターわだつみ	櫻井 嗣久

編集後記

今回は中部地区交流スポーツ大会が7月開催となった為、障害者スポーツフェスティバルが表紙を飾る事になりました。魚釣りやパン食い競争など、利用者の皆様もとても楽しそうに参加していました。中部地区交流スポーツ大会のソフトボールの結果も気になる所ですが、それはまた次号のお楽しみとさせていただきます！

【編集担当：広報委員会】

静岡市しみず社会福祉事業団だより

第284号

平成28年 夏号



つばさ
Tsu Ba Sa

発行
静岡市しみず社会福祉事業団
静岡市清水区駒越西2丁目10番10号
電話 054(335)5050
FAX 054(335)7821

URL: <http://plaza.across.or.jp/~shimizu-294/>



平成28年5月15日(日)、静岡市清水区総合運動場陸上競技場で第27回静岡市清水区障害者スポーツフェスティバルが開催されました。事業団からはうしおワーク・ひびきワーク・うなばら学園の利用者の方が参加し、玉入れやパン食い競争、徒競走などの競技を行いました。汗ばむ気候の中、皆さん笑顔で元気いっぱいに参加しました。

事業団トピックス

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました



- 大丸松坂屋百貨店労働組合
静岡支部書記長 狩野辰夫 様
○静岡市清水うしおワーク保護者会 様
○静岡市清水うみのこセンター親の会 様
○静岡市清水うなばら学園保護者会 様
○イオンリテール株式会社 イオン清水店 様
○加藤直己 様

春のバスハイク!! (ひびきワーク)

5月27日(金)、利用者さん14人、職員5人で、春のバスハイクに行ってきました。ディスカバリーパーク焼津でプラネタリウムの鑑賞。幻想的できれいな星空に思わず息を飲み込んでしまいました。昼食は焼津魚センター大食堂『渚』で新鮮な魚料理を堪能し、みなさん大満足！
昼食後はお土産などの買い物をし、楽しい1日となりました。次回の行事を楽しみに、みんなで毎日元気にがんばっています。



ふれあい交流会 (うみのこセンター)



5月15日(日)、親の会主催のふれあい交流会が多目的ホールで行われ、ご家族総勢76名が集まり、昨年度卒所した4名も元気な姿を見せてくれました。始めの種目は「大玉転がし」。体より大きな玉を転がす子どもを、お母さんは優しく見守ったり助けたり。やり終えた子ども達は誇らし気に映りました。次の種目は「メダル作り」。絵を描いたりシールを貼ったり、世界でひとつのメダルを完成させ、首にかけて満足気な表情を見せてくれました。いつものグループの垣根を越えて、異年齢の友達との交流を親子で楽しめました。

4月からなぎさホームに配属されました平垣まや（ひらがきまや）です。沢山の方との出会いを大切に日々楽しく活動していきたいと思います。
よろしくお願いします。



4月からひびきワークに配属されました石塚皓規（いしづかひろき）です。一日でも早く職場に慣れて皆さんと良い関係を築いていきたいと思っています。
よろしくお願いします。

新人さんいらっしゃーい！

★WEBサイトリニューアル★

8月より、静岡市しみず社会福祉事業団のウェブサイトがリニューアルします！事業団全体だけでなく、各施設の日々の様子もお伝え出来るようになります。皆さまぜひ一度覗いてみてください！！

静岡市しみず社会福祉事業団

検索



平成27年度 決算報告

《資金収支計算書》

【単位：千円】

勘定科目		予算額	決算額	差異
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	7,916	7,269	△ 647
	障害福祉サービス等事業収入	351,302	353,938	2,636
	その他の事業収入	40,462	40,462	0
	経常経費寄附金収入	312	362	50
	受取利息配当金収入	181	195	14
	その他の収入	2,452	2,428	△ 24
	事業活動収入計 ①	402,625	404,654	2,029
	支出			
	人件費支出	319,577	318,677	900
その他の収支	事業費支出	28,065	27,508	557
	事務費支出	34,075	33,678	397
	就労支援事業支出	7,916	7,255	661
	その他の支出	34	34	0
	事業活動支出計 ②	389,667	387,152	2,515
	事業活動資金収支差額 ③ = ① - ②	12,958	17,502	4,544
	施設整備等収入			
施設整備等収入	施設整備等収入計 ④	0	0	0
	支出			
	固定資産取得支出	626	625	1
	施設整備等支出計 ⑤	626	625	1
その他の収支	施設整備等資金収支差額 ⑥ = ④ - ⑤	△ 626	△ 625	1
	収入			
	積立資産取崩収入	7,061	7,061	0
	その他の活動による収入計 ⑦	7,061	7,061	0
その他の収支	支出			
	積立資産支出	5,475	5,469	6
	その他の活動支出計 ⑧	5,475	5,469	6
	その他の活動資金収支差額 ⑨ = ⑦ - ⑧	1,586	1,592	6
その他の収支	予備費支出 ⑩	0	0	0
	当期資金収支差額合計 ⑪ = ③ + ⑥ + ⑨ - ⑩	13,918	18,469	4,551

前期末支払資金残高 ⑫	193,867	193,871	4
当期末支払資金残高 ⑪ + ⑫	207,785	212,340	4,555

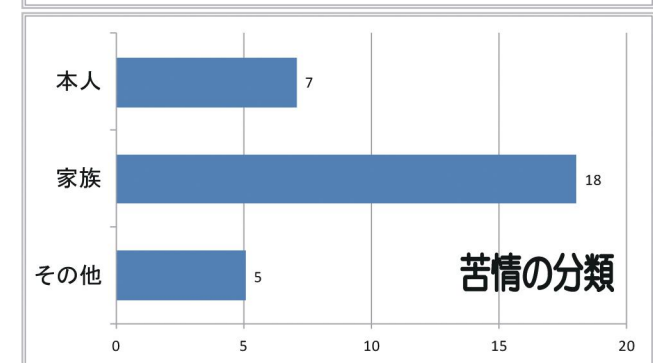
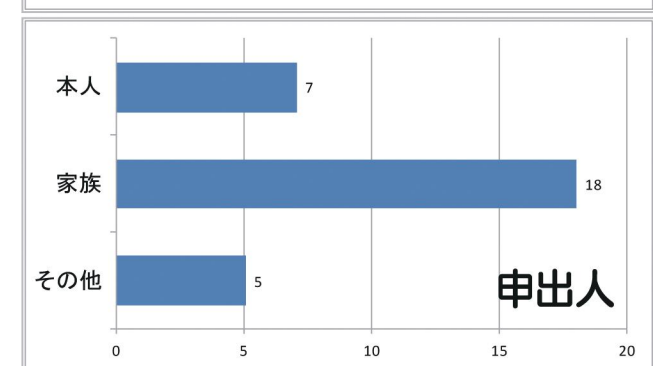
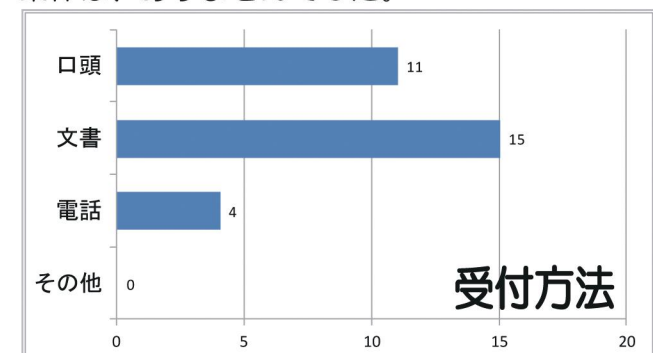
《貸借対照表》

【単位：千円】

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	218,929	流動負債	26,808
現金預金	164,077	事業未払金	4,513
事業未収金	54,408	未払費用	576
未収金	122	預り金	52
貯蔵品	13	職員預り金	1,230
商品・製品	160	賞与引当金	20,437
仕掛品	53	固定負債	55,591
原材料	4	退職給付引当金	55,591
前払金	92	負債の部 合計	82,399
固定資産	137,049	純資産の部	
基本財産	3,000	基本金	3,000
定期預金	3,000	基本金	3,000
その他の固定資産	134,049	国庫補助金等特別積立金	85
建物	12	国庫補助金等特別積立金	85
構築物	427	その他の積立金	117,135
車輛運搬具	4,100	退職給与積立金	19,218
器具及び備品	3,387	事業運営資金積立金	97,917
権利	519	次期繰越活動収支差額	153,359
退職給付引当資産	8,469	次期繰越活動収支差額	153,359
退職給与積立資産	19,218	(うち当期活動増減差額)	2,136
事業運営資金積立資産	97,917	純資産の部 合計	273,579
資産の部 合計	355,978	負債＋純資産の部 合計	355,978

平成27年度 苦情解決結果報告

平成27年度において苦情解決責任者が解決した苦情は、各施設の総数として30件でした。なお、個々の苦情解決に際して第三者委員に報告した案件、並びに直接第三者委員が受け付けた案件は、ありませんでした。



以上の結果を踏まえ、平成28年5月18日に第三者委員への報告会を開催し、各施設の苦情解決責任者並びに苦情受付担当者が第三者委員に苦情の内容等について報告を行いました。

分類	内容
処遇内容	・教室の実施回数が少ない ・作業時間内には必ず一人職員がいてほしい ・担当職員と相性が合わない ・連絡帳で書いた内容について返事がなかった ・支援計画が利用者に反映されているとは思えない ・持ち帰った歯ブラシが汚い ・本人の前では排泄について話さないでほしい ・計画作成期限を守ってほしい
利用者との関係	・送迎バス内で他の利用者の行動が気になり気疲れする ・送迎バスで気が合わない利用者がいて精神的に不安定になってしまった。いろいろな方法を試みたが改善していない
職員の対応	・作業ボランティアで施設にいた時に職員があいさつを返さなかった ・他害行為があったことについて詳細説明が全くなかった ・面接中にスマートフォンでメモをとる職員がいた
施設設備	・もちつき大会の保護者ボランティアの決め方をもっと平等にしてほしい ・古紙回収中に利用者が放尿していた